



“学校楽しい？” “ハーイ！”（斗賀野小学校新入生）

# さかわ *Sakawa* 議会だより

70  
2017.5.1

発行 高知県佐川町議会

3月定例会

contents 目次



おはよう！（斗賀野小学校）

平成29年度一般会計予算 65億2,436万円 2

議会の注目 4

子育て支援すすむ 5

ここがききたい 一般質問 9～15

# 平成29年度 一般会計予算

# 65億2,436万円

- 大規模事業が終わり予算縮小
- 住民の要望をかなえる思いっきり予算  
町道、農道、水路改良に4,750万円増

## 賛成全員で 可決

3月定例会は、3日から10日までの会期で開かれました。

平成29年度一般会計予算をはじめ平成28年度補正予算、条例の制定や改正などが上程され、議案51件を審議、賛成全員で全件可決しました。

一般質問には7人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。



完成した黒岩中央保育所

平成29年度の一般会計予算は約65億2千万円、前年に比べて約9億5千万円の減となっており、前年度からの減少率は12・8%となっています。

減少の要因は、斗賀野・黒岩・加茂地区の集落活動センター及び黒岩中央保育所の新築工事、霧生関公園（仮称）建設工事などの終結によるものです。

### 歳入

### 入るお金

平成29年度の自主財源（町民自身が税金等で負担するお金）は約19億9千万円。主な収入となる住民税や固定資産税などの町税が昨年より1.5%増の約10億9千万円。

歳出に対して、足りない額を補うため、財政調整基金（貯金）等から4億2千万円を繰り入れています。

国や県からくるお金のうち主たる地方交付税は1.7%増の約25億4千万円となります。

### 歳出

### 出るお金

人件費は昨年より3.8%増の約10億2千万円。投資的経費は53・2%減の9億1千万円となっています。

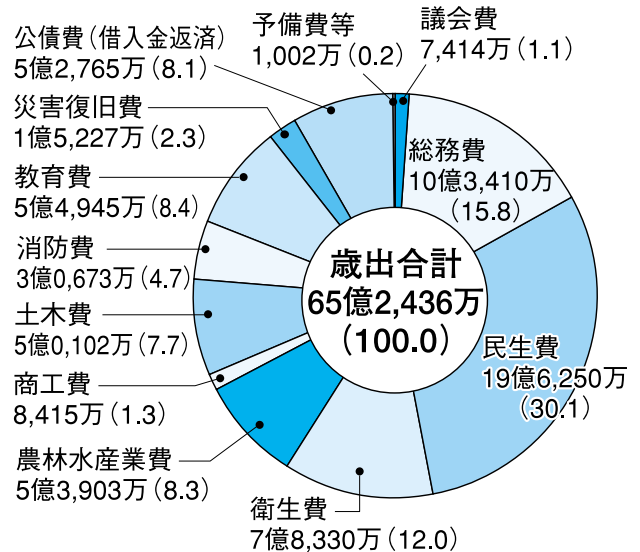
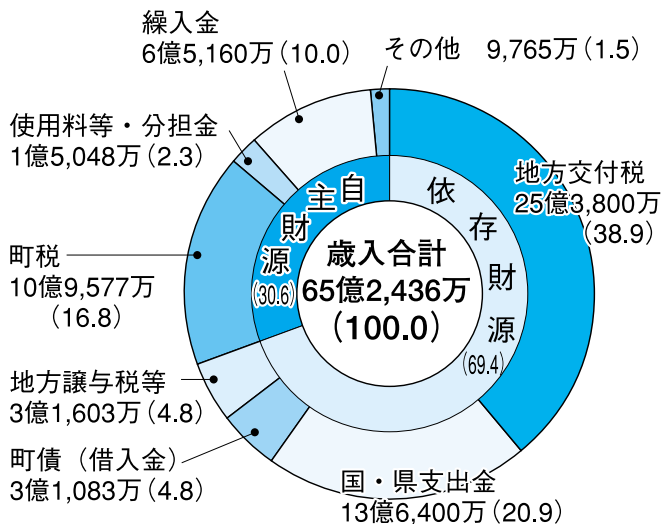


# 平成29年度予算

## 総額 121億1,450万円

単位：円（％）

### 平成29年度一般会計予算



### 平成29年度各会計の当初予算

（単位：円）

| 会 計 名     |                 | 本年度予算総額    | 前年度予算総額    | 比較増減      |
|-----------|-----------------|------------|------------|-----------|
| 一 般 会 計   |                 | 65億2,436万  | 74億8,002万  | △9億5,566万 |
| 特 別 会 計   | 国 民 健 康 保 険     | 19億9,906万  | 19億8,009万  | 1,897万    |
|           | 住宅新築資金等貸付事業     | 131万       | 242万       | △111万     |
|           | 学 校 給 食         | 6,177万     | 5,663万     | 514万      |
|           | 農 業 集 落 排 水 事 業 | 2,538万     | 2,942万     | △404万     |
|           | 介 護 保 険         | 18億7,402万  | 18億4,326万  | 3,076万    |
|           | 後 期 高 齢 者 医 療   | 2億3,567万   | 2億1,638万   | 1,929万    |
|           | 水 道 事 業         | 3億186万     | 4億1,597万   | △1億1,411万 |
|           | 病 院 事 業         | 20億277万    | 19億5,773万  | 4,504万    |
| 総 計       |                 | 130億2,620万 | 139億8,191万 | △9億5,571万 |
| 重 複 額     |                 | 9億1,170万   | 9億2,647万   | △1,477万   |
| 全 会 計 純 計 |                 | 121億1,450万 | 130億5,544万 | △9億4,094万 |

※水道事業および病院事業会計の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上

# この事業に議会が

# 注目

3月定例会において、平成29年度当初予算の中から、議会が注目する事業を紹介します。



新しく加入した地域おこし協力隊

地域の活性化や強化を目的に町外から募集し、平成29年度は、自伐型林業12人、観光2人、総合型1人、農業8人、ものづくり8人、プロボーザル1人、ふるさと寄附1人の33人体制で町おこしを支援する。

## 地域おこし協力隊

**1億3,781万円**

要望のあつた農道、排水路、町道等の整備や維持修繕を実施。また、地域で頑張る土木事業費の補助や生コン等の原材を支給する。

## 町単独事業 (要望箇所対策)

**9,100万円**



お待たせしました！修繕します！



ぐるぐるバスがやってきた！

町内における交通手段確保のため、平成29年4月からコミュニティバス1台で実証運行を行い、10月からはコミュニティバス3台で本格運行を開始する。

## 地域公共交通整備

**4,866万円**

地域の实情に詳しい人材を集落支援員として委嘱し、地域と町の連携を強化する。平成29年度は、尾川、黒岩、加茂、斗賀野の4地区へ配置する。

## 集落支援員事業

**1,732万円**



4地区の支援員勢ぞろい



## ～産前産後～



### 乳児家庭訪問事業

全家庭を訪問。  
要支援の家庭には継続訪問する。

### 新生児聴力検査補助

平成28年度より開始。  
新生児が聴力検査をするとき公費負担。

### 産前産後ヘルパー制度

平成29年度から開始、産前産後に助けの必要な家庭を支援。有料。

### 新婚生活応援事業

平成29年度から収入の少ない方への家賃や引っ越し費用補助。

### 不妊治療費助成事業

費用の一部助成。

### 母乳相談



元気に大きくなってネ！（花園保育園）

## ～学校～

### 放課後子どもプラン充実

開所日数や時間が広がる。また、定員増となる。

### 学校支援地域本部事業

平成29年度からすべての学校で実施。  
地域の力を借りて共に育てる。

### 就学援助、町奨学金

経済的理由で就学が困難な家庭を援助する。利用しやすくなった。

### 不登校対策

平成29年度から佐川中、佐川小、斗賀野小が連携し、支援体制を充実することにより、不登校やいじめをなくしていく。



## こんなに進んだ

佐川町の

## 子育て環境

## ～保 育～



### 保育料減免

第3子完全無料。兄弟が同時に入所している場合は1人分の保育料で。平成27年度から。

### 一時預かり保育

保育に行っていない子どもや里帰り出産のとき利用。保育に一時的に預けることができる。平成28年度から6園で実施。

### アレルギー児等対応調理員配置補助、管理栄養士配置

平成29年度から私立5園に調理員を雇用する場合に補助。  
公立には管理栄養士による業務支援。

### 特別利用保育実施

働いていない保護者の子どもも入所の受け入れができるようになった。  
平成29年度から公立2園で実施。

### ファミリーサポートセンター

平成27年度より開始。

### 病後児保育

平成28年度より開始。

### 中学生までの医療費無料化

平成26年度から。

# 平成28年度3月 補正予算

(単位：円)

| 会 計 名            |             | 補正額       | 補正後の額     |
|------------------|-------------|-----------|-----------|
| 一 般 会 計          |             | △4億1,349万 | 73億3,068万 |
| 特<br>別<br>会<br>計 | 国民健康保険      | △1,602万   | 19億9,987万 |
|                  | 住宅新築資金等貸付事業 | 0         | 1,316万    |
|                  | 学校給食        | △945万     | 4,719万    |
|                  | 農業集落排水事業    | △155万     | 2,787万    |
|                  | 介護保険        | △790万     | 18億3,947万 |
|                  | 後期高齢者医療     | △71万      | 2億1,546万  |
|                  | 水道事業        | △4,522万   | 3億8,541万  |
|                  | 病院事業        | 0         | 19億5,773万 |

※補正減額は主に事業の精査をした結果生じたものです。

## 補正予算質疑

下川議員 霧生閣防犯拠点事業、園芸振興負担事業の繰り越しの理由を聞

不足するため設計変更をした。園芸振興負担金事業は国の決定が遅く発注が遅れたため。

産業建設課長 霧生閣については、現状では土が

## ふるさと寄附 推進事業 514万円

ふるさと寄附が想定以上に申し込みがあり、それに対する返礼品購入費用を増額して対応する。



ふるさと寄附返礼品の一部

身体障害者の更生のための更生医療に係る医療費自己負担分補助の増額補正。

## 自立支援医療事業 300万円

個人の木造住宅耐震化補助の申し込みが当初の見込みより増えたことにより、増額補正で対応する。

## 木造住宅耐震化 支援事業 405万円



地震への備えが必要



耐震補強のすじかい・金物



# 3月定例会で決まりました

## 工事請負契約の 変更契約の締結

霧生関防災拠点施設（仮称）整備工事

（契約金額）

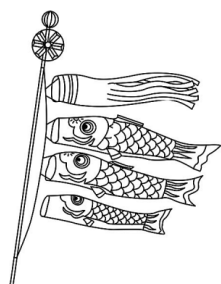
2億1206万9880円  
1025万3520円の増額

（工期）

平成29年5月31日

（契約の相手）

晃立・大川特定建設工事共同企業体



## 人 事

監査委員

上田 益英 氏

佐川町加茂1285番地

農業委員

植田 正和 氏

佐川町丙2508番地

藤原 健祐 氏

佐川町甲350番地1

田村 公史 氏

佐川町永野1107番地1

氏原 延 氏

佐川町永野495番地

森田 有紀 氏

佐川町西組842番地1

佐藤 良一 氏

佐川町西山耕69番地

武石 悦雄 氏

佐川町黒原5091番地

横畠 悦子 氏

佐川町黒原4722番地

北添 正男 氏

佐川町加茂439番地



工事が進む霧生関

## 指定管理者の指定

| 管理を委託する施設    | 管理を行う団体                |
|--------------|------------------------|
| さかわ発明ラボ      | 特定非営利活動法人 イシュープラスデザイン  |
| 集落活動センターくろいわ | みんなで福祉のまちづくり委員会 黒岩地区部会 |
| 集落活動センター加茂の里 | 加茂の里づくり会               |
| 尾川地区住民センター   | 山田自治会                  |
| 小富士集会所       | 荷稻自治会・青去自治会            |
| ふれあいセンターけいとう | 西山組自治会                 |
| 斗賀野老人憩いの家    | 斗賀野老人クラブ               |
| 黒岩老人憩いの家     | 黒岩長寿会                  |
| 四ツ白太刀踊保存伝承館  | 四ツ白自治会                 |
| 名教館          | 一般社団法人 さかわ観光協会         |
| 佐川文庫庫舎       | 一般社団法人 さかわ観光協会         |

# ここを 聞いてみた

## 議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

### 一般会計

坂本議員 管理栄養士が新たに雇用されるが、その任務は何か。

健康福祉課長 町立保育所の給食のメニューの管理、乳幼児健診等の補助を行う。

坂本議員 新婚生活応援事業を利用するための要件は何か。

健康福祉課長 住居にかかわる費用の一部を補助するもので、一世帯上限24万円、世帯の所得が340万円未満を対象とする。

坂本議員 民間保育所の調理員雇用の補助の理由を聞く。

健康福祉課長 アレルギー食対応の調理員雇用を補助する。

坂本議員 町道舗装補修のため多くの予算が組ま

れている。狙いは何か。昨年度予算と比べどれだけ増えたか。

産業建設課長 町への要望事業の積み残しが多くある。積み残しを減らすことで地域の課題を解消していくため、大幅増額をした。金額は、農道水路維持修繕等に4750万円増である。



補修の必要な町道

中村議員 まきストーブの補助を減らした理由は何か。

産業建設課長 平成28年度は7件の予算を組んだが、来年度は5件の想定をした。申請が多くなれば検討する。



設置された薪ストーブ

森議員 基金の繰り入れが6億5千万円ほどある。今後の基金繰入が必要なる事業は何か。

総務課長 図書館・道の駅建設が本格的になった場合必要となる。

森議員 地域おこし協力隊の増員が計画されている。人員とその職務の内容は。

チーム佐川推進課長 自伐型林業に4名、農業の担い手に1名、ものづくりに3名、合計8名が新しく加わる。

森議員 道路橋梁新設改良費が約2億9千万円計上されている。主なものは何か。

産業建設課長 道路改良事業費で市ノ瀬1号線、大平線、市ノ瀬線を想定している。

### さかわ養明ラボ指定管理者

永田議員 指定管理者が町外となっている。その理由、委託費を聞く。

チーム佐川推進課長 現在拠点が東京にあるが、佐川町に拠点を移す予定となっている。委託費は540万円。

### 病院会計

森議員 今年度の予算で人件費が増加している。その理由を聞く。

病院事業副管理者 常勤医師を1名増員するほか薬剤師2名、作業療法士1名、看護師1名、事務職員1名を採用する。



忙しく働く病院職員

### 霧生関工事請負契約変更契約の締結について

下川議員 盛土の調整作業を行って平面部分の増減はあるか。

産業建設課長 平面部分の増減はない。

7人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

## 次期選挙はどうするか

町長 ぜひ、挑戦したい

堀見町長が、就任以来今日に至るまで、堀見町政を振り返り、総括という意味で、どういった認識を持っているのか。それを踏まえて、10月の次期町長選挙への判断はどうするのか。

堀見町長 公約については、ほぼ予定どおり進捗をしていると把握している。まだまだ、町の課題はあり、道の駅や図書館など覚悟を持って取り組みなければならぬ事業がある。

住民の皆さんがまた頑張れよと言っていただけなら、ぜひ、続けてやらせていただきたい。その意味で、10月の選挙には、挑戦したい。



木の香りのする新園舎（黒岩中央保育所）

## 子育て世代包括支援センターの1日も早い立ち上げを

健康福祉課長 30年度に立ち上げる方向

産後のうつ予防や早期発見のために、産婦健康診査の実施と助成を行う事業を実施してはどうか。

また、それに伴い産後ケア事業の実施と「子育て世代包括支援センター」の1日も早い立ち上げをするべきだ。

岡崎健康福祉課長 平成30年度に「子育て世代包括支援センター」を立ち上げる方向で検討している。

その中で、産後ケア事業と産婦健康診査について具体的に検討することになる。

放課後児童クラブについて、保護者の方から、夏休み等の長期休業期間だけの利用をしたいが、現状はそれができない、何とかならないかとの相談があった。事前に問い合わせたところ、検討することになったが、どうなったか。

川井教育長 7月、8月の2か月間受け入れる方向で検討していたが、夏休み限定での声も聞いたので、定員85名に対して余裕がある限りは、夏休み期間だけでも受け入れる方向でやっていたと考えている。

教育長 受け入れる方向で考えている

## 放課後児童クラブ 夏休みだけの利用は



春休みも利用可能に（斗賀野小学校放課後こども教室）



## 地域公共交通

# 福祉の視点で改善必要

チーム佐川推進課長 意見を聞き改善

坂本 玲子 議員



4月から実証運行が始まるが、福祉の視点が抜けている。路線型では住民の望むものとは違うのではないか。路線型とデマンド型の満足度や必要経費の比較はできているか。民生委員や障害者の意見も聞きシステムの改善が必要ではないか。

片岡チーム佐川推進課長 実証運行は時間と路線を決めて運行する路線型で実施する。公共交通の空白地をなくすようにした。経費等の比較はできていない。いろんな人の意見を聞き改善しながらやっていく。

岡崎健康福祉課長 バス停まで行けない方についても支援する方向でいろんな検討をしている。



住民の足となるか？ぐるぐるバス

## 要介護1から 障害者認定を

健康福祉課長 来年度に向け見直し

他の市町村では要介護1以上で障害者認定が受けられる。佐川町でも要介護1以上を対象とすべきではないか。

岡崎健康福祉課長 障害者認定があると所得税で障害者控除が受けられる。佐川町は現在、要介護3以上を障害者認定の対象としているが、他の多くの市町村では要介護1以上を対象としている。来年度の確定申告に向けて見直しを検討する。

## 町奨学金の 規則改善を

教育長 変更した

町外から移住してきた人は連帯保証人がいなくて、奨学金を受けられなくて困っている。規則の改善が必要ではないか。

川井教育長 町奨学金の連帯保証人は今までは町内の連帯保証人が2人必要だった。しかし、やむを得ない事情がある場合には町外の在住者を連帯保証人にできるように変更した。

その他の質問  
◎職員の育成について



春休みにもクラブ活動（佐川高校）



森 正彦 議員

平成29年度予算の中の  
ふるさと教育の目指すもの  
と内容は、  
川井教育長 策定中の第  
二期教育振興基本計画  
で、佐川の歴史・文化や

## ふるさと教育の 目指すものは

教育長 ふるさとを大切にする子ども

豊かな自然、産業など郷土のよさを学ぶことを通じて、ふるさとを大切にする子どもを育てる。そのことで子どもたちが将来、佐川に貢献できる、佐川を豊かにするふるさと教育を進めていく。  
内容は、現在取り組んでいる総合学習や各教科での地域学習を体系化し、特色ある取り組みを進めていく。  
具体的には、全ての学校で学校支援地域本部事業に取り組み、地域の力も借りながら進める。



心に残るふるさと景色

## 地方創生事業の 成果は

チーム佐川推進課長 成果は上がっている

地方創生事業、平成28年度の成果と平成29年度の事業内容、予算は、片岡チーム佐川推進課長  
平成28年度は町有林の間伐・森林管理システムの導入・発明ラボでのベンチづくり・学校教育との連携等を実施した。成果は十分上がっている。  
平成29年度は、平成28年度からの繰越事業として斗賀野地区の集落活動センター整備に6489万円、自伐型林業を核とした雇用創出と地域活性化について1550万円の交付金がある。

## 地域農業活性化へ 企業誘致をしては

町長 受け入れる準備をしておく

地域農業の担い手の高齢化でリタイアする人が増加し、農地を耕作する人がいなくて困っている。今のままでは、地域農業の衰退は目に見えている。日高村に企業が次世代園芸ハウスを建設するというニュースがあった。佐川町も活性化のため、農業生産をする企業を誘致してはどうか。

堀見町長 農業における企業誘致も大切な一つの産業振興の手だてだと思っている。町としてもアンテナは高く張って受け入れる準備をしておきたいと考えている。

その他の質問

◎成人のひきこもりについて

◎仁淀ブルー観光協議会にマフソンの実施を提言してはどうか



物づくりって楽しいな（尾川小学校）



佐川町での鳥獣被害対策の取り組みはどのように行っているのか。  
また、その中で、町では、鳥獣被害緊急対策事業補助金の交付要綱が、

## 鳥獣被害対策の補助 1戸でも対応を

産業建設課長 できるよう検討をする

中村 卓司 議員



2戸以上でなければ利用ができないので1戸でも利用できるように要綱を改善できないか。  
公文産業建設課長 現在の補助金交付要綱では受益者が2戸以上となっている。鳥獣被害が進むなか現状にそぐわなくなっている。電柵について、農家の負担軽減や営農意欲の向上の点を考え、1戸でも補助対象にするよう検討をする。



いたずらイノシシ 御用だ！

## 道の駅計画 どう進めていくか

チーム佐川推進課 平成32年度開業目指す

道の駅計画は、今後どのように進めていくのか。時系列で説明を。

片岡チーム佐川推進課長 3月末に先進地の道の駅2カ所を視察する。

来年度以降の予定は調査、基本計画、道路の管理者などの関係機関との協議を行う。また用地の調査、運営方式について検討を行い、平成30年度に基本設計と実施設計及び用地の契約、登記を完了させる。平成31年度から造成、建設工事に着手。同時に運営母体の組織を発足。順調にいけば、平成32年度から開業する予定だ。

## テニス場 整備計画は

教育長 具体的に検討進める

住民から要望のあったテニス場整備について具体的な今後の計画は。川井教育長 本年度、テニスコート利用者から2面の増設等の要望が出ており、今後は、テニスコートの利用者や指定管理者の意見も伺いながら、平成30年度には施設整備をすることを目指して、具体的に検討を進めていく。

そのほかの質問  
◎次期町長選について  
◎高北病院の運営について  
◎さかわるるバスについて

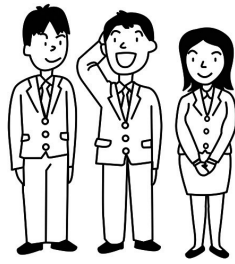


たくさんの地場産物やお土産が並ぶ道の駅（愛媛県）





邑田 昌平 議員



## 飲酒運転 懲戒免職にすべきでは

町長 停職1年とした



信頼される役場に

職員が飲酒運転による事故を起こした場合懲戒免職にすべきではないか。裁判で禁固以上の刑になった場合職員はどうなるか。

また職員の服務規律徹底がどう図られているか。綱紀粛正や危機管理意識が必要だと思うがどう対処するか。

堀見町長 このたびの事件に関しては大変申し訳ないと思っている。行政処分は停職1年と最も厳しい処分をした。司法処分については今裁判中である。もし執行猶予がついても禁固以上の刑が確定すると、地方公務員法において失職ということになる。

服務規律を徹底し綱紀粛正に努めていく。

西森収納管理課長 二度とこのようなことが起きないよう、また失った信頼を再構築できるよう指導していく。

横山総務課長 職員の服務規程には、職員は町民全体の奉仕者として職責を自覚し、誠実、公正にかつ能率的に職務を遂行するよう努めなければならないとある。

## 地域包括ケアシステム 具体的取り組みは

町長 さまざま実施している



地域包括ケア体制について具体的にどのような取り組みを行っているか。

仕組を作り上げるためには町のリーダーシップが必要だ。

堀見町長 地域ケア会議、認知症の初期集中支援チームの編成、清和病院と委託契約、認知症サポーターの養成講座の実施をしている。

行政がリーダーシップをとることは大切だ。各

関係機関と連携し、しっかりと取り組んでいきたい。

岡崎健康福祉課長 地域包括ケアシステムは行政だけではなかなかできない。社会資源、他職種の方との連携をとって構築していかなければならない。佐川町だけでは取り組みにも限界がある。



学生を対象とした認知症サポーター養成講座

日高村、佐川町双方から、教育委員会が独立している加茂地区での総合計画における教育分野、特にふるさと教育の取り組みをどのように考えているのか。

## 加茂地区のふるさと教育 どう取り組む

町長 連携し進める

下川 芳樹 議員



川井教育長 佐川町の総合計画、教育振興基本計画の中でも、特にふるさと教育を大切にしている。加茂の子どもたちにもふるさとを知る学習を、しっかりとやってもらうことが大事だと感じている。

堀見町長 今後、日高村と佐川町の子どもたち、加茂小中学校の子どもたちが素晴らしい学びができるよう、連携し進めていきたい。



2町村の生徒が通う加茂小・中学校

## 自伐型林業の 林地集約内容は

産業建設課長 支援員配置し取り組む

地域おこし協力隊が定住し活躍するためには、自伐型林業等で生計を立てる必要がある。そのため林地集約の内容は、公文産業建設課長 林地集約の目標面積を、平成37年度までに1千ヘクタールとしている。毎年百ヘクタール以上の集約に取り組む。所有者にアンケートを取り、町に山林管理を任せたい希望がある回答者から集約を進める。山林集約化支援員を配置し、地区の集落活動センターと連携しながら取り組む。

## 町民プールを活用し 健康づくりを

教育長 環境を整えていく

右肩上がりで拡大する介護保険料や国民健康保険料を抑制する健康づくりには、町民プールの活用が不可欠だ。施設の改修など進みつつあるが、まだ十分な施設とは言えない。今後の事業内容は、川井教育長 本年度は一般介護予防事業による水中ウォークを実施した。今後とも健康福祉課やプールの指定管理者と協議を進めて行く。また、ハード面では天井改修、空

調整備を行ったが、更衣室の改修やバリアフリー化など進め、子どもから高齢者まで幅広い町民が利用できる環境を整えていきたい。

その他の質問  
◎あつたかふれあいセンターの役割りとは何か  
◎地域担当職員制度の取り組みについて



空調整備で冬もあつたか（町民プール）





今橋 寿子 議員

佐川町職員についてはその能力を十分に発揮できるよう、人材育成と適材適所への配置が必要だと思うが、どのようになっているか。  
また、地元の住民を大切にして向き合っているという声も聞く。町長の姿勢はどうか。

## 町職員の 人材育成必要

総務課長 進めている

## 観光協会 発足しての総括は

チーム佐川推進課長 来訪者年々増加

観光協会が発足しての総括はどうか。また観光協会の役割は、くろがねの会、はなもりCafe、ボランティアの方々のみならず商工会とのつながりをつくり経済効果へも結び付けていくことが大切だ。佐川町には食べる場所が無いと言われていた。町としての役割は。

片岡チーム佐川推進課長 観光協会が発足し土産物の開発、休憩所・案内板の設置、観光客用駐車場の整備など課題解決に取り組む、来訪者も年々増加している。  
堀見町長 観光協会の主体性を大切にしながら、浜口邸での飲食についてどうしたらできるようになるか考えるようアドバイスをしている。

横山総務課長 佐川町は人材育成基本方針を作成している。①職員研修の充実②仕事の意欲を高める人事管理③生き生きと仕事に取り組める職場環境を整えることを大切にしている。  
堀見町長 佐川町にずっと住み続けている方が主体的に幸せな町づくりにどうかわかっていくが一番大切だと思う。もっとより深く話ができるような関係をつくってきたい。



観光の拠点となる浜口邸

## 町広報に 町民の声を

チーム佐川推進課長 読みやすい誌面づくり

町の広報には町外から来た人の声が多く、佐川町で地道にやっている人にスポットがあたっていない。町民の声も入れ住民と行政との心の通う誌面づくりを。  
片岡チーム佐川推進課長 町広報は町民が町政に関心を持ち、理解を深める効果的な手段だ。住民の声を載せるのは公平性を保つことが必要なので難しい。今後、伝える広報から伝わる広報へ、を目指して読みやすい誌面づくりを進める。



読みやすい誌面づくりを





改修が待たれる柳瀬川

## 黒岩地区 河川改修計画

(平成27年3月定例会)

黒岩地区の柳瀬川河川改修工事の今後の進め方について聞く。また、圃場整備も並行して実施するのが望ましいと考えるかどうか。(中村議員)

## 産業建設課長 答 弁

### 順次進めていく

平成26年度に概略設計を作成しており、平成27年度から順次地元説明をする。圃場整備については、治水協議会、越知町と協議し、進めていく。

### 平成29年度に詳細設計を実施予定

平成29年度中に、工事区間全体の希少野生動植物調査、部分的に地質調査、土地所有者調査、詳細設計を県が実施する予定。  
仁淀川中流域水害対策推進協議会と協議を密に行い、早期完成を県に要望していく。また、工事残土を活用した圃場整備も併せ検討していく。

どう  
なった

あの質問のゆくえ

No.41

### 平成29年度予算

(単位：円)

| 会 計 名   | 予算額       | 前年度比      |
|---------|-----------|-----------|
| 一 般 会 計 | 8億1,656万  | △1億2,592万 |
| 特別会計    | 特別養護老人ホーム | 11億9,395万 |
|         | 養護老人ホーム   | 1億1,059万  |
|         | 障害者支援施設   | 1億7,012万  |
|         | ふるさと市町村圏  | 3,190万    |
|         |           | 1,312万    |

### 《組合長 諸般報告》

#### 清掃センター

1月末のごみ総量は、7446トン、佐川町が全体の52%の3830トンとなっている。

#### 消防署

平成28年度中の出勤状況は、救急出勤が1549件で、このうち65歳以上の高齢者搬送の割合は78%を占めている。

ヘリコプターによる搬送は、構成町の離着陸場の整備により、ドクターヘリや防災ヘリを68回要請しており、救命率の向上に大きな効果が表れている。  
火災出勤は14件で、うち佐川町は5件となっている。

#### 特別養護老人ホーム

構成町内の他事業者が運営する高齢者福祉施設の増加など高齢者向け福祉施設の充実により、入所待機者は減少している。また、介護職員については慢性的に人員不足となっている。

高吾北

広域

町村事務組合

議会

3月3日

—住民の信頼に応えられる議会へ—

# 議会懇談会を開催します



佐川町議会では今年も議会懇談会を開催します。  
今回で5回目を迎えました。さらに、住民に信頼される議会に向けて、皆さんの生の声をお聞きし、その思いを真摯に受け止め、住みよい町づくりに役立てたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

| 月 日      | 地区名     | 場 所           | 時 間   |
|----------|---------|---------------|-------|
| 5月10日(水) | 加 茂 地 区 | 集落活動センター 加茂の里 | 19時から |
| 5月11日(木) | 尾 川 地 区 | 集落活動センターたいこ岩  | 18時から |
| 5月15日(月) | 黒 岩 地 区 | 集落活動センター くらいわ | 18時から |
| 5月17日(水) | 斗賀野地区   | J A コスモス斗賀野支所 | 19時から |
| 5月18日(木) | 佐 川 地 区 | 役場2階大会議室      | 19時から |

あなたが選んだ議員の  
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は6月2日(金)午前9時  
開会予定です。傍聴においでください。

## 編集後記

斗賀野良心市の会員も減っている。農家の高齢化も進む一方だ。全てを守ろうとしても、守れないかもしれない。20年、30年後の農業はどんな姿になるのか、農村風景も変わる。

零細兼業農家の離農が加速すれば、農村の維持は今以上に困難になり、手入れのできる地域と、できない地域の線引きが行われるかもしれない。「安くて新鮮」と評判の農産物直売所の主な出荷者は、高齢農家や零細農家だ。彼らが引退すれば、成り立たないビジネスだ。

しかし、「農村風景を残してほしい」。わが良心市もいつまでガンバレルか？

邑田 昌平

## 議会広報編集委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 森 正彦  |
| 副委員長 | 片岡 勝一 |
| 委員   | 邑田 昌平 |
| 委員   | 坂本 玲子 |
| 委員   | 下川 芳樹 |

※わかりやすい紙面にと心がけています。  
読後のご感想、ご意見をお寄せください。



# 地域で がんばる

## 佐川わくわくクラブ

— この会はどうしてつ  
くったのですか。

— 地域の絆を取り戻し、  
困っている人のお手伝い  
ができればいいなと思っ  
てつくりました。

— どんな活動をしてい  
ますか。

— 行政が行う支援のは  
ざまに困っている人がい  
ます。子どもやお年寄り、  
障害者やその保護者が手  
助けを必要としていると  
き、会員を派遣します。  
また会員同士の交流や  
学習も続けています。

— やってみてどうです  
か。

— 困っている人がいっ  
ぱいいるのにびっくりで  
す。自分たちだけではで  
きないこともいっぱいあ  
ります。そんな時は行政  
や関係機関に働きかけて  
改善してもらおうよう願  
いしています。

— 会員は何人いますか。

— 現在は38名です。  
学ぶことは、楽しいで  
すよ。

— うれしいのはどんな  
時ですか。

— 少しでも誰かの役に立  
てるのはうれしいです。  
またいろんな人に出会  
えること、そして知らな  
かったことに気付くこと  
ができるのにも喜びがあ  
ります。

— これからどうしたい  
ですか。

— 私たちの手助けがい  
らない町、安心して住み続  
けられる佐川町になっ  
てほしいです。また  
障害児者の施設が少なく  
て困っている人が多くい  
ます。何とかできないか  
なあと考えています。  
みんなで少しずつ力を  
出し合い、無理をせず、  
ボチボチとやっていくた  
らいいなあと考えていま  
す。



会員のみなさん

ありがとうございます  
。みなさんの活動は佐川  
の人たちの「しあわせ」  
につながっています。こ  
れからも地域の幸せのた  
めによりしくお願いしま  
す。

あなたの周りで、佐川  
町の元気のために頑張っ  
ている「組織やグループ」  
をぜひ、ご紹介ください。



会長の渡辺さん

わがまち佐川に  
は、地域のた  
め活動してい  
る組織や人  
がいます。そ  
の皆さんにス  
ポットを当  
てて紹介しま  
す。  
今回は、地域の  
困った人の手  
助けをする「  
佐川わくわく  
クラブ」の会  
長渡辺富子さ  
んに話を伺い  
ました。



のいち動物公園でたのしい1日